

「10月3日」エスピリタ研究協会救済部設備拡張計画

2003年3月28日、サンパウロ市北西部のラッパ区に所在する「「10月3日」エスピリタ研究協会」アニタ・ブリーザ救済本部において草の根無償資金協力により導入された職業教育機材等の引渡式が開催されました。

同引渡式は、本件機材供与に併せて改装されたアニタ・ブリーザ救済本部の食堂において、事業実施団体の「「10月3日」エスピリタ研究協会」アニタ・ブリーザ救済本部からヒカルド・ジョアン・ガルシー会長ら及びラッパ区、サンパウロ州連帯社会基金（FUSSEP）、同本部の改装に協力した関係者ら約100名が出席して盛大に実施されました。

式典は、「「10月3日」エスピリタ研究協会」の活動紹介ビデオの上映、出席者の挨拶、供与機材を始めとする施設内の見学会が行われ、ガルシー会長及び赤阪総領事による供与機材への日章旗ステッカーの記念添付が実施されました。

○上記案件のプロフィール

案件名：「10月3日」エスピリタ研究協会救済部設備拡張計画

実施団体：「10月3日」エスピリタ研究協会

契約署名日：2002年10月25日

供与限度額：US\$15,386

案件概要：本件協力は、同協会が、サンパウロ市北西部のラッパ区において地域の青年・成人を対象としたコンピュータ職業教育、クリーニング技術指導、理容・美容技術指導を行うためのパソコン、洗濯機、散髪用椅子、洗髪設備、パーマ器具等及び上記職業教育の参加者や貧困世帯にスープを提供するための机及び椅子を購入する計画に対して行われました。

「10月3日」エスピリタ研究協会は、1951年に設立後、現在まで同地区において貧困世帯の家族に対し、パソコン、パン製造、調理等の職業教育、識字教育、妊婦に対する母親教室、診療サービス、乳児定期検診の実施及びスープ、基本食料、文房具、衣服の配給等の社会活動を行っており、本件計画の実施によって、同協会の職業訓練活動が拡張され、地域の貧困家族の保護と自立支援という同協会の取組みの強化が期待されます。



供与されたコンピューターを前に握手をするガルーシ会長と赤阪総領事



多数の参加者が出席した引渡式



日の丸をイメージした飾り付けが施された供与機材（テーブルと椅子）